

八潮市立 八幡中学校だより

目指す学校像
生徒が輝き、夢や希望を育む学校

学校教育目標
・人を大切にする生徒
・自分の考えを持ち表現できる生徒
・挑戦し続ける生徒

重点目標
3つの基本「時を守り、場を清め、礼を正す」



ホームページ

令和6年6月14日(金)発行
第3号 在籍生徒314名

自分を表現すること

校長 市川 真志

新学年がスタートして、早くも2ヶ月が過ぎました。生徒の皆さんは、日々落ち着いて学習活動に臨んでいて、素晴らしいと思います。私も、時折校内を回って、皆さんと一緒に授業を受けていますが、その度に「よく学習しているな。」と感心します。話し合い活動も恥ずかしがらずにやれるし、じっくりと考えることもできます。当たり前のことかもしれませんが、当たり前のことをきちんとすることは、実は難しいことです。当たり前を当たり前にする。このことを忘れず、これからも学習に取り組んでください。

さて、本校の教育目標の2番目に「自分の考えを持ち、表現できる生徒」という項目があります。前回の学校だよりで、自分の考えを持つことの重要性について述べました。今回は、「表現できる生徒」という部分について、お話しします。

「自分を表現する」というと、非常に難しい事のように思うかもしれませんが、私たちは普段の生活の中で、いろいろな表現をしています。言葉・表情・態度・行動等です。いろいろなことを思い、考えていても、それを上手にわかりやすく表現できなければ、相手には伝わりません。どんな方法でもよいのですが、自分の気持ちを表現することは、絶対に必要なことです。今は、インターネットが普及し、電子メールやSNSで人とつながることが簡単になったことで、自分を表現しやすくなったと思います。電子機器を上手に使いながら、気持ちを表現できるようになると良いですね。

さて、八幡中学校では5月31日に「音楽の日」を行いました。「舞太鼓 あすか組」さんの迫力ある演奏を鑑賞しましたが、本当に素晴らしかったです。躍動感ある太鼓や三味線。見事な舞まで披露し、日本の伝統的な打楽器の素晴らしさを再確認しました。私が特に感動したのは、「天狗と鬼」の舞です。最初に鬼が出てきて、天狗とやりとりをしましたが、お互い全く言葉を交わさないのに、何となく何と言っているのか、伝わってきました。「凄い表現力だな。」と感心して見ていました。日本の伝統芸能は本当に素晴らしいです。このような文化を持った国に生まれたことに、誇りを持ちましたし、その文化を受け継いでいこうという「あすか組」の取組に、心から感動しました。



自分を表現する方法は様々ですから、最も良い方法で自分の気持ちを表現すれば良いと思います。しかし、自分の考えを相手に正しく伝えるのは、難しいものです。SNS上の文字だけでは、誤解を生む場合があります。私は本当に大事なことを伝えるときは、相手と会い、目や声・表情など、全身を使って相手に伝えるようにしています。そうすることで、お互いを深く理解できるようになります。コロナ禍以降、人と会うことが苦手になった人も多いと思いますが、そういう時だからこそ、人と人とのつながりを大事にしていきたいものです。八幡中学校の生徒の皆さんには、「自分を表現する力」を身に付け、社会のリーダーとして活躍してほしいと思っています。